

科目名		ベンチャー企業論(Venture Business)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	選択	講義	後期	45時間		
担当教員		【非常勤】講師 向山 尚志 (【副担当】教授 松野 成悟)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	近年、停滞する日本経済を打破するために、ベンチャー企業に対する期待は膨らんでいる。そこで本講義では、ベンチャー企業について注目し、その特徴や問題などを取り上げていく。また後半は、ベンチャー企業論の一つである四面体理論に焦点をあて、講義を進めていく。								
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	実際の企業にあてはめてベンチャー企業の概要・組織・成長の枠組みを実際の企業に当てはめ分析・考察できる	ベンチャー企業の概要・組織・成長の枠組みを理解できる	ベンチャー企業の概要・組織・成長に関する名称を知っている	ベンチャー企業の概要・組織・成長に関する名称を知らない					
到達目標②	会社設立や企業への社会的なサポート体制に関して、各社の取り組みに合わせ評価できる	会社設立や企業への社会的なサポート体制に関する枠組みを理解できる	会社設立や企業への社会的なサポート体制に関する名称を知っている	会社設立や企業への社会的なサポート体制に関する名称を知らない					
到達目標③	四面体理論の枠組みを実際のベンチャー起業家にあてはめて考察できる	四面体理論の枠組みを理解できる	四面体理論に関する名称を知っている	四面体理論に関する名称を知らない					
学習・教育到達目標	C②		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】									
汎用的技能【論理的思考力】				◎					
態度・志向性(人間力)【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力【エンジニアリングデザイン能力】				○					

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	経営管理論、経営組織論、経営戦略論
教科書	なし
補助教材等	プリント(講義資料および演習課題)
学習上の留意点	
ベンチャー企業とその環境, および起業家精神など起業家に求められる能力に関連する事項を学びます. 日頃から企業を取り巻くようなニュースなどに関心を持ちながら受講して下さい.	
担当教員からのメッセージ	
ベンチャー企業の起業家には常にビジネスになるかどうかといった発想を行うことが求められます. この科目を受講するみなさんには, 常に経済ニュースを体に取り入れるところから始めてもらいたいと思います.	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス ベンチャー企業の概要1	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・ベンチャー企業の各種定義について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
2	ベンチャー企業の概要2	・ベンチャーブームについて理解できる ・ベンチャー企業の分類方法について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
3	起業プロセスと成功戦略	・ベンチャー企業のライフサイクルの流れについて理解できる ・各期の詳細について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
4	組織のマネジメント	・ベンチャー企業の組織体系について理解できる ・ベンチャーにおけるネットワーキングの重要性について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
5	アントレプレナーの教育	・起業家育成の重要性について理解できる ・日本におけるアントレプレナー教育の実際について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
6	ベンチャーファイナンス	・日本におけるベンチャーキャピタルの実際と日米の違いについて理解できる ・ビジネスエンジェルについて理解できる	授業中に配付した資料を復習する
7	インキュベーション	・インキュベーションの必要性について理解できる ・インキュベーションの要素について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
8	中 間 試 験		
9	試験返却・解答解説 会社設立1	・試験問題の解説を通じて誤りを修正できる ・会社設立のプロセスについて理解できる。	授業中に配付した資料を復習する
10	会社設立2	・会社設立後の問題点について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
11	四面体理論1	・起業家に求められる能力について表した四面体理論の枠組みについて理解できる	授業中に配付した資料を復習する
12	四面体理論2	・第Ⅰ面の起業家の起業力について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
13	四面体理論3	・第Ⅱ面の変革的切り口について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
14	四面体理論4	・第Ⅲ面の変革的ひねりについて理解できる ・第Ⅳ面の統合的合わせ技について理解できる	授業中に配付した資料を復習する
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間